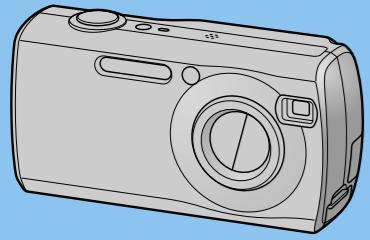


サイバーショット取扱説明書

はじめにお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本書と別冊の「安全のために」「サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

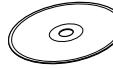
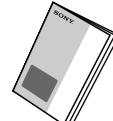


DSC-S40

Cyber-shot



あわせてご覧ください。

「Cyber-shot Life」(付属CD-ROM) (Windowsのみ対応)
準備から活用まで、サイバーショットの楽しみかたをムービーで紹介します。取扱説明書「活用編・困ったときは」(別冊)
進んだ活用法と、困ったときの解決方法などを説明します。サイバーショットの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

© 2005 Sony Corporation Printed in Japan

この説明書は100%古紙再生紙と
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物
油型インキを使用しています。

258974010

付属品の確認してください

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

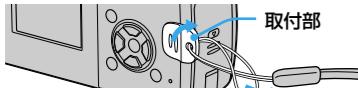
- 単3形アルカリ電池(2)
- USBケーブル(1)
- リストストラップ(1)

- サイバーショットアプリケーションソフトウェア(1)
- サイバーショット取扱説明書はじめにお読みください(本書)(1)
- サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは(1)
- 安全のために(1)
- 保証書(1)



ご使用前に行ってください

- 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。
また、落下防止のため、リストストラップを取り付けてご使用ください。



■ サイバーショットオフィシャルWEBサイト

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/>

■ 使用上での不明な点や技術的なご質問

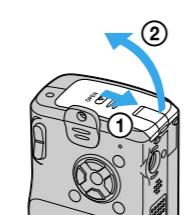
テクニカルインフォメーションセンター

電話: 0564-62-4979 (おかげ間違いにご注意ください。)

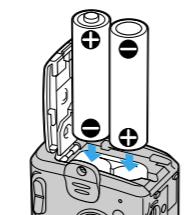
受付時間: 月~金曜日 午前9時~午後5時(年末/年始/祝日を除く)

1 電池を準備する

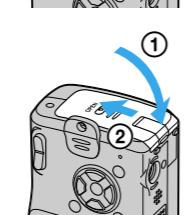
電池を入れる。



OPENボタンを押しながら、電池カバーを開ける。



④、⑤を合わせ、入れる。



閉じる。

2 電源を入れ、時計を合わせる

- ① モードスイッチを「」にする。



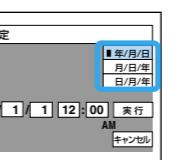
- ② POWERボタンを押す。



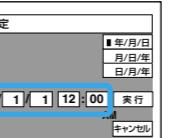
- ③ コントロールボタンで、時計を合わせる。



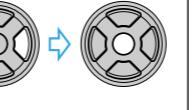
- 1 ▲/▼で日付表示順を選び、●で決定する。



- 2 ▲/▼で設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定して●で決定する。

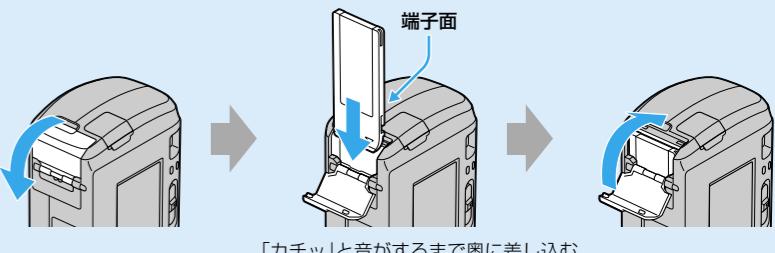


- 3 ▶で[実行]を選び、●で決定する。



- 時計合わせを中止するには、[キャンセル]を選んで、●を押す。

3 “メモリースティック”(別売り)を入れる



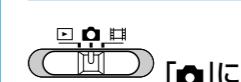
「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。

“メモリースティック”が挿入されていないときは
本機の内蔵メモリー(32MB)に画像を記録/再生します。→別冊「活用編・困ったときは」20ページ

4 用途に合わせて画像サイズを決める

- ① モードを選ぶ。

静止画のとき

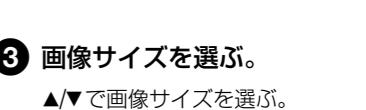


動画のとき



- ② / (画像サイズ)ボタンを押す。

- ③ / (画像サイズ)ボタンを押す。



- 静止画のときの画面です。動画のときは[640 (ファイン)](「メモリースティック PRO」のみ)、[640 (スタンダード)]、[160]から選びます。

- ④ / (画像サイズ)ボタンを押して、設定を終了する。

静止画の画像サイズについて

「画像サイズ」について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」10ページ

静止画画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
4M (2304×1728)	A4サイズやA5サイズの用紙に高精細プリント	少ない	精細
3:2 (2304×1536)*			
3M (2048×1536)			
1M (1280×960)	写真のL判にプリント	より多くの画像を撮影	
VGA (Eメール) (640×480)	電子メールで送る/ホームページで使用		多い

* 写真的印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

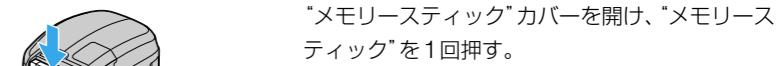
静止画の記録可能枚数と動画の記録時間について

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。
詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」19ページ

- 記録枚数は、撮影状況によって異なります。

“メモリースティック”を取り出すときは

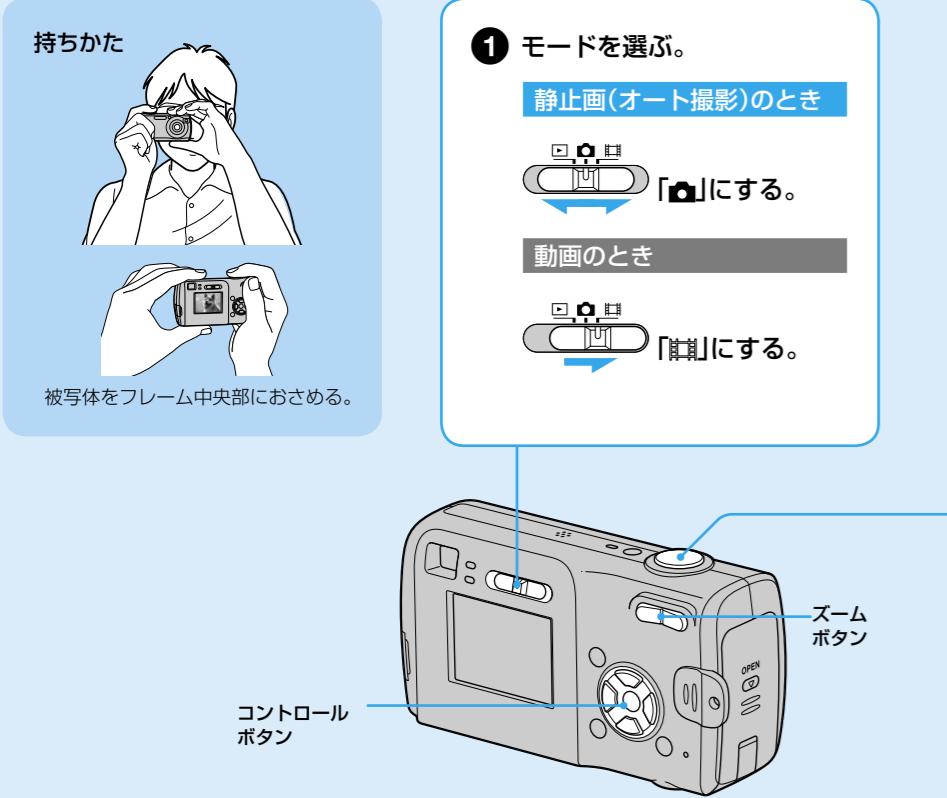
“メモリースティック”カバーを開け、“メモリースティック”を1回押す。



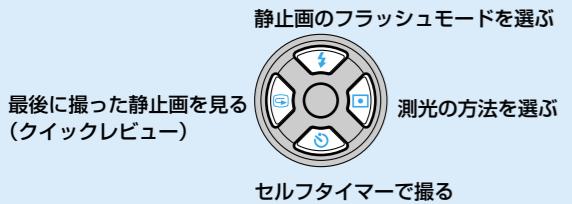
アクセスランプ点灯中は

絶対にバッテリーカバーや“メモリースティック”カバーを開けたり電源を切らないでください。データが壊れることがあります。

5 簡単に撮る(オート撮影)



コントロールボタンの機能を使うには



最後に撮った静止画を見る (クリックレビュー)

コントロールボタンの◀(左)を押す。
やめるには、もう一度◀を押す。



- 表示直後は画像が粗いことがあります。
- 画像を削除するには、■/▲(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲で[削除]を選び、●を押します。

静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順②の前に、コントロールボタンの▲(上)を押す。押すごとに、設定が変わります。



表示なし 光量不足/逆光と判別したとき発光
(お買い上げ時の設定)

強制発光

スローシンクロ(強制発光)
暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

発光禁止

フラッシュ推奨距離([ISO]が[オート]の時)
W側 約0.2~3.8m
T側 約0.5~2.1m

フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

測光の方法を選ぶ

露出を自動で決めるとき、画面のどの部分で光を測る(測光)のか選びます。

スポット測光(□): 被写体の一部分に焦点を当てて測光します。逆光にある被写体や、背景とのコントラストが強いときに便利です。

マルチパターン測光(表示なし): 画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動的に調整します。

手順②の前に、メニューの[□] (カメラ)を[オート]以外にする。→別冊「活用編・困ったときは」/22ページ
コントロールボタンの▶(右)を押す。やめるには、もう一度▶を押す。

スポット測光準
被写体をここに合わせる

• スポット測光の場合、測光する場所とフォーカスを合わせる場所を一致させたいときは、[□] (フォーカス)を[中央重点AF]にすることをおすすめします→別冊「活用編・困ったときは」/26ページ。

セルフタイマーで撮る

手順②の前に、コントロールボタンの▼(下)を押す。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピ」と操作音が鳴り、約10秒後に撮影される。



静止画のピントがうまく合わないときは

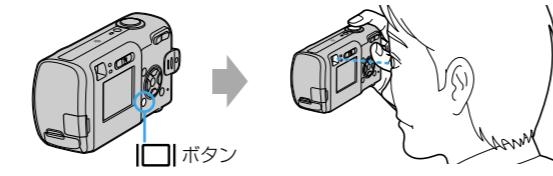
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピッピ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。
- ピントが合いにくい被写体:
 - 被写体が遠くで暗い
 - 被写体と背景のコントラストが弱い
 - ガラス越しの被写体
 - 高速で移動する被写体
 - 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
 - 点滅する被写体
 - 逆光になっている被写体

画面の表示については

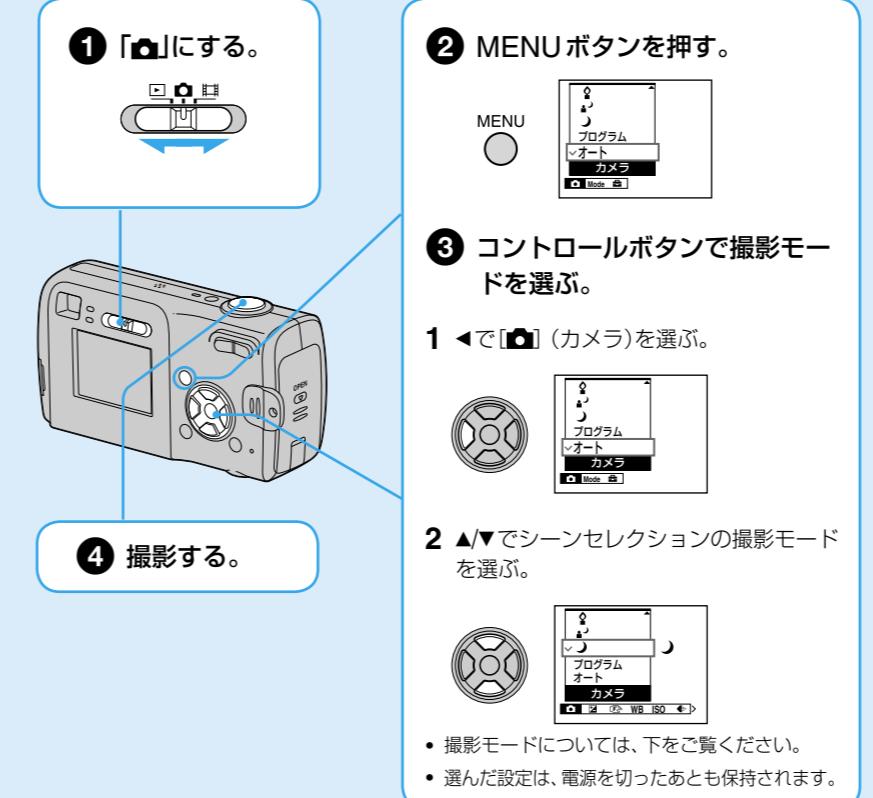
→別冊「活用編・困ったときは」/14ページ

液晶画面を消すには

[□] (画面表示/液晶画面オン/オフ)ボタンを繰り返し押す。電池の消耗を抑えたいときや、液晶画面で画像を確認しづらいときはファインダーを使ってください。



場面に合わせて静止画を撮る(シーンセレクション)



シーンセレクションを解除するには

▲/▼で[オート]または[プログラム]を選ぶ。

シーンセレクションの撮影モード

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。



スノーモード

白い風景を明るく撮る。



夜景&人物モード*

夜景をバックに、手前の人物を撮る。



ビーチモード

海や湖畔など、水の青さを鮮やかに撮る。



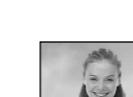
夜景モード*

暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮る。



風景モード

遠景にピントを合わせ、遠くの風景などを撮る。



ソフトスナップモード

人物や花などを、優しい雰囲気で撮る。



キャンドルモード*

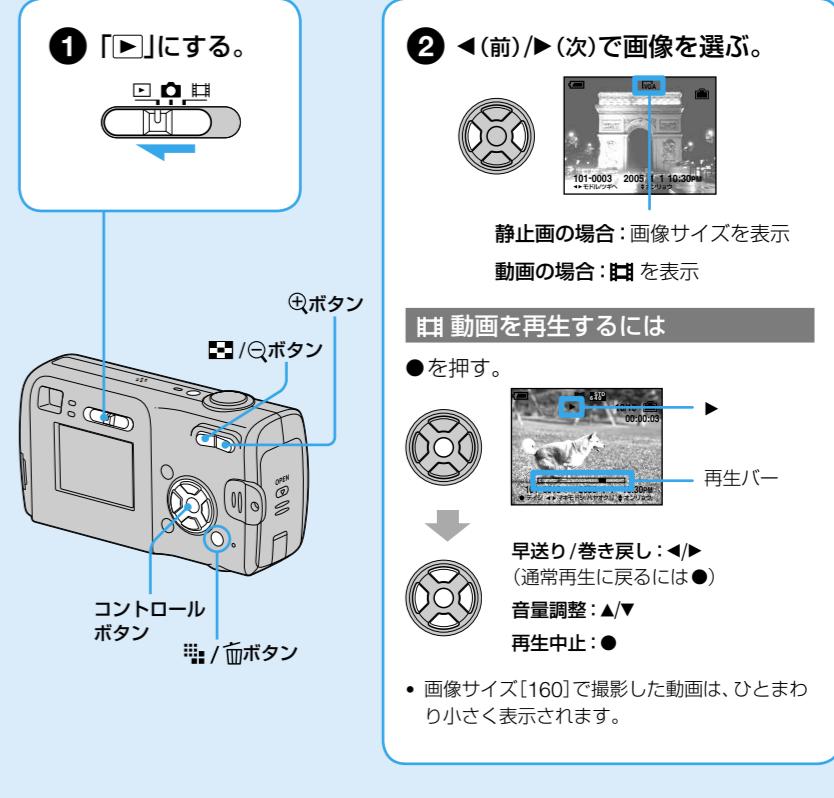
キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮る。

* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

コントロールボタンを使った機能をシーンセレクションと同時に使うには

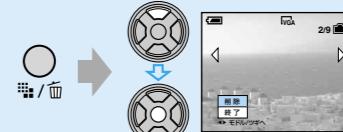
手順①で撮影する前に設定してください。モードによっては使えない機能があります。使えない機能のボタンを押すと、ビビビと音が鳴ります。→別冊「活用編・困ったときは」/23ページ

画像を見る／削除する



画像を削除するには

- 削除したい画像を表示して■/▲(削除)ボタンを押す。
- ▲で[削除]を選び、●を押す。



削除を中止するには
[終了]を選び、●を押す。

拡大して見るときは(拡大再生)

静止画を再生中に④ボタンを押すと、ズームできる。④で戻る。

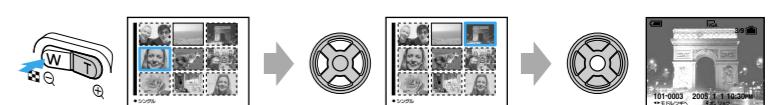
ズーム位置変更: ▲/▼/◀/▶

ズーム中止: ●

・拡大した画像を保存するには: [トリミング]→別冊「活用編・困ったときは」/38ページ

一覧(インデックス)表示で見るときは

- ⑤(インデックス)ボタンを押し、▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。●を押すと、シングル画面に戻る。◀/▶を押し続けると、次の画面に移る。



一覧(インデックス)表示で画像を削除するときは

- 一覧表示中に■/▲(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼で[選択]を選び●を押す。
- 削除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、●を押して■(削除)マークを付ける。



削除を中止するには
取り消したい画像を選んで●を押し、■マークを消す。

3 ■/▲(削除)ボタンを押す。

4 ▶で[実行]を選び●を押す。

- ・フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で▲/▼で[選択]の代わりに[フォルダ内全て]を選んで●を押してください。